

＜いじめは早くやめよう＞

小さな頃にいじめられて、とても大きな心の傷を負ってしまい、大人になった今でもその傷がいやされずにいる人がいます。いじめは、取り返しがつかないものです。大人も子供も、等しく許されないものです。

- ◇わざとではなくても人を傷つけてしまうことがあります。そのときの友達の様子を見れば、わかるはずです。そんなときは、なるべく早くていねいにあやまりましょう。
- ◇汚い言葉や乱暴な言葉を使い続けていると、心は乱暴になり、知らず知らずのうちに友達の心を傷つけてしまいます。
- ◇悪口を言いたくなったときは、おなかに手をあてて、手のひらのぬくもりを感じながら、息を殺したり吐いたりを繰り返しましょう。
- ◇やさしい言葉をかけると、思いもしない反応が返ってきて、自分の心が温かくなることがあります。

いじめは、法律に触れる犯罪行為として扱われる場合があります

- (例)
- 悪口を言う (侮辱罪や名誉毀損罪) ・ たたく (暴行罪、傷害罪)
  - 物を取る (窃盗罪) ・ いやなことをさせる (強要罪)



＜いじめを先生や家の人に相談する＞

あなたや友達がいじめを受けているとき、そのことを話してもらえなかった先生や家の人は、どんな気持ちになるでしょうか？みんな皆さんのことを心配しています。いじめを受けたり、いじめに気付いたりした時は、先生や家の人など身近な大人に必ず相談してください。ていねいにみなさんのお話を聞いて、たくさんの人々が協力して問題の解決まで責任を持って対応します。

- ◇いじめを受けている (いじめかどうかわからないけど、友達との関係でいやな気分になっているなども含まれます。)
- ◇いじめを見つけた (友達が悲しそうにしている、つらそうに見えるなど、気になるときがある)
- ◇自分がいじめをしているとき (本当にこんなことしていいのかな？と疑問に思う瞬間もあると思います。)

※どうしても先生や家の人にお話できないときは、下にあるようにほかにも相談できる場所があります。

◆いじめの相談機関◆

- 子どもと親のサポートセンター 0120-415-446 メール [saposoudan@chiba-c.ed.jp](mailto:saposoudan@chiba-c.ed.jp)
- 24時間子供505ダイヤル 0120-0-78310
- ヤング・テレホン (千葉県児童少年センター) 0120-783-497
- 子どもの人権110番 0120-007-110
- 千葉いのちの電話 043-227-3900

＜ちがいがあってあたりまえ＞

人はひとりひとり、みんなちがっています。ちがっているからうまくいっていることがたくさんあります。例えば、先生方にもいろいろなちがいがああります。きまりを守らなかったときにきびしくしかってくれる先生、こまったときにやさしく相談にのってくれる先生、休み時間にいっしょにあそんでくれる先生・・・いろいろな先生がいて、みんなが楽しく学校生活を送れるように見えています。

クラスも同じです。元気な子、静かな子、ゲームがとくいな子、本が好きなお子・・・いろいろな友達と話をしたり、遊んだり、勉強したりできるから、クラスが楽しくなるのです。自分とちがうからといって意地悪をしたり、仲間はずれにしたりすると、自分も相手も傷つきます。友達の中にあるちがいをみとめて、大切にしてください。



※国、千葉県、市町村、学校では、いじめを防いだり、いじめを受けた子供たちを守るためにきまりをつくり、みんなで協力して行動しています。気になることは、必ず相談してください。

小学生版 (中・高学年用) 教員用指導参考資料



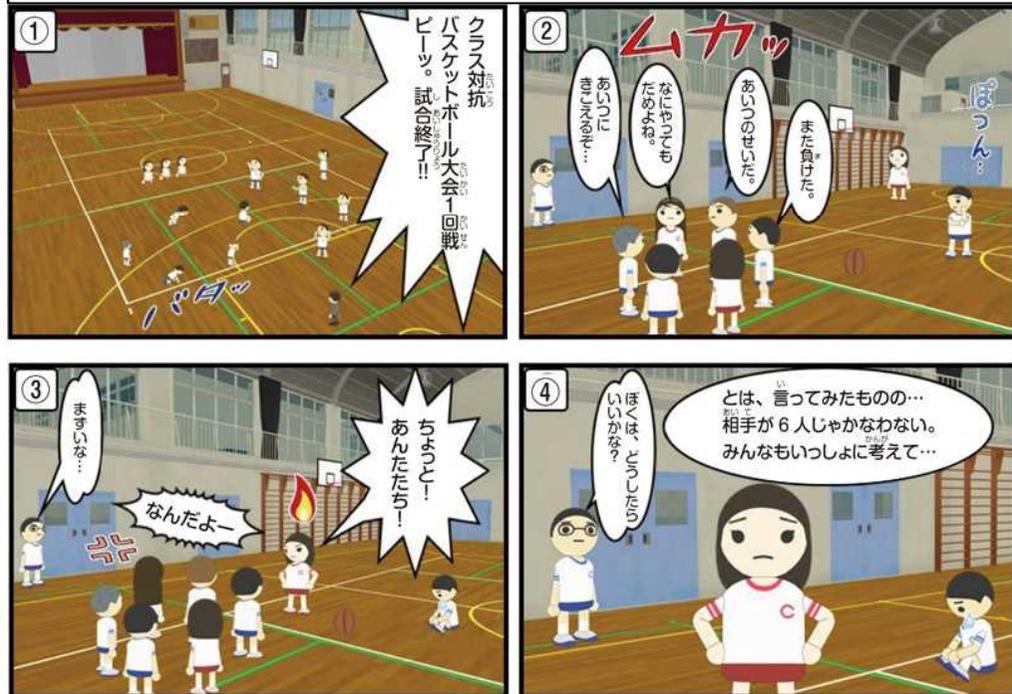
# いじめをゆるさない

安全・安心な学校を作るために

千葉県教育委員会

【指導のポイント】

- ・今、実際にいじめがおこっている等の理由で本教材をすぐに扱うことは、適当でないこともあるかもしれません。各学校の実態に応じて、適切に利用してください。
- ・説明をしながら、十分な時間をとって実際に、書かせてから話し合いをさせると考えが深まります。



○まず、漫画を見てください。何が起きているかわかるかな？説明してみてください。(できるだけくわしく書いてみましょう。)

【指導のポイント】

中学年でバスケットボール自体がわからない場合や、最後のページの内容が難しいと感じられる場合は、小学校版 (低・中学年用) 資料を使用してください。また、内容を理解できない場合は、「水色のドアのところ立っている男子はどんな状態か」「③の絵でずわっている男子は…」と焦点をしぼって質問をするなど工夫をしてください。

【解答例】

このクラスは、バスケットボール大会の1回戦であっけなく負けてしまった。バスケットボールが苦手な子も試合に出た。漫画の中で文句を言われている子は、おそらく試合中にミスをした。そのために、クラスの他の子たちが文句を言っている。そんな様子を見かねて、一人の女の子が注意しようとしている。また、話の輪に入っていない男の子がどうしたらよいか迷いながら状況を見ている。

(1)



○試合でミスした子に文句を言ってはいけないの？

【指導のポイント】

自由に正直に答えさせてください。その上で、子供たちの意見で「励ましながらみんなで協力していく」ことが大切だと気づかせてください。話し合いの状況により、苦手な子を励ます方向にならない場合は、無理に誘導するのではなく、つぎの(2)の絵で、バスケットボールが苦手な子供の気持ちを考えさせてください。

【解答例】

- ・ 一生懸命にやっていてミスをしたなら仕方ない。
- ・ 練習が足りないからミスをするのではないか。
- ・ やはり負けたくらいやしい。ミスをした子を責めたくない。
- ・ 自分が文句を言われたらいやなので、他の人にも言わない方がよい。
- ・ ミスをした人は、責任を感じているし傷ついているはず。なぐさめた方がよい。

(2)



○どんな気持ちかしら……？

【指導のポイント】

苦手なものを思い浮かべる時間とって考えさせてください。子供にとっては実際にたいへん嫌な思いをしていることも想定されますので、強く発言を求めるとはせず、「嫌なことを思い出させてしまったらごめんね。これは指名したりしないからね。無理に言わなくても大丈夫だからね。」等の配慮をお願いします。

【解答例】

- ・ つらい。
- ・ 涙が出ている。悲しいと思う。
- ・ みんなに申し訳ない気持ち。
- ・ バスケットボールなんて大嫌い。
- ・ みんなで悪口を言うなんてひどい。
- ・ だれか助けて欲しい。
- ・ もう学校に行きたくない。

(3)



○みんなだったらどうする？

【指導のポイント】

「注意ができない」と考える児童も多いと思います。正直な気持ちからスタートして、どのようにしたらよいかを考えるきっかけとしてください。

【解答例】

- ・ 注意をする。
- ・ 様子を見ている。
- ・ 先生に伝える。
- ・ みんなで練習しようと言う。
- ・ 自分がやられたらいやなことはしてはいけないのではないかと提案する。

(4)



○なんで勇気が出なかったんだろう

【指導のポイント】

「注意ができない」理由を明確にして、それをどう克服していくかという絵(5)につなげるように展開してください。そのために小さな理由でも、大切に取り上げてください。

【解答例】

- ・ 注意すると、次は自分が文句を言われるかもしれないと思ったから。
- ・ 文句を言っている人の数が多いので、一人では言いにくかったのではないか。
- ・ もともと、気が弱かったのではないか。
- ・ ケンカが弱いのでこわかったのではないか。

(5)



○ぼくは何かできることはなかったのかな？

【指導のポイント】

いじめの防止では、まわりで見ている子供がどう行動するかが大切です。ひとりひとり何かできることがあると思いますので、考えさせてください。その際、友だち同士が協力することの大切さも伝えてください。

【解答例】

- ・ 注意をした女の子と一緒に行動すればよいのではないか。
- ・ 今からでも、男の子をなぐさめてあげて、相談を受けたいのではないか。
- ・ 先生を呼びに行けばよかったのではないか。

(6)



○ぼくはどうしたらいいのかな？

【指導のポイント】

はじめに自由に発言させ、ある程度、意見が出そろったら、いくつかを選択して他の人はどう考えるかを発問するなど工夫してください。例えば「がまんする」という意見がでてきたら、このことについてどう思う？と発問するなど考えを深めてください。また、自分の思っていることを伝えることや、大人に相談することが、恥ずかしいことや、ずるいことではないということも指導してください。

【解答例】

- ・ ひどいことを言うなと文句を言えばよい。
- ・ 友だちに助けを求める。
- ・ 先生や家の人に相談したらどうか。
- ・ もっとバスケットボールを練習してうまくなり、文句を言われないようにする。
- ・ ぼくのせいで負けてごめんと言う。

(7)



○どんな言葉をかけたらいいか考えてみて。

【文句を言っている子に対して】

【指導のポイント】

子供たちそれぞれの伝え方がありますが、「だめなものだめ」ではなく理由や伝え方を考えさせてください。

【解答例】

- ・ もうそんなことを言うのはやめよう。
- ・ みんなでもっと練習しよう。

【文句を言われている子に対して】

【指導のポイント】

絵(2)の文句を言われている子はどんな気持ちか考えたことを思い出させながら、やさしい、親切な言葉を発表させてください。

発言に対して、「とてもいい言葉だね」等の声かけでたくさんほめてあげてください。

【解答例】

- ・ 一緒に練習しようね。
- ・ 気にしないで。次がんばろう。

いじめについて考えてみよう

○人にされたら嫌なことを教えてください【いじめってどういうことだろう？】

【指導のポイント】

ある程度意見がでたら、例えば、「自分が一番嫌なことは何か、挙手等で確認する。」次に「自分は、気にならない(嫌でない)ことがあるか発問する。」などの方法で感じ方は、人それぞれであることを理解させてください。自分ではいじめではないと思っていもいじめになっていることがあることを理解させてください。

【解答例】

- ・ 自分が気にしていることを言われる。
- ・ 話を聴いてくれない。
- ・ たたかれる。
- ・ 命令される。
- ・ 無視される。
- ・ 物を隠される。
- ・ 笑われる。